

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公表番号】特表 2006-517254 (P2006-517254A)

【公表日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報 2006-028

【出願番号】特願 2006-503927 (P2006-503927)

【国際特許分類】

C 1 0 G 69/06 (2006.01)

C 1 0 G 2/00 (2006.01)

C 1 0 G 47/14 (2006.01)

C 1 0 G 9/36 (2006.01)

C 0 7 C 11/04 (2006.01)

C 0 7 C 11/06 (2006.01)

C 0 7 C 11/167 (2006.01)

C 0 7 C 4/04 (2006.01)

【F I】

C 1 0 G 69/06

C 1 0 G 2/00

C 1 0 G 47/14

C 1 0 G 9/36

C 0 7 C 11/04

C 0 7 C 11/06

C 0 7 C 11/167

C 0 7 C 4/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 27 日 (2006.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

低級オレフィンを調製するための分解プロセスへの炭化水素供給物であって、前記炭化水素供給物が、

- ・低級オレフィンの沸点範囲を超える沸点を有する少なくとも一つの留分；
- ・少なくとも 15 % (m / m) のオレフィン；および
- ・1 % (m / m) 未満の芳香族化合物含量、

を含むことを特徴とする、炭化水素供給物。

【請求項 2】

前記炭化水素供給物が、少なくとも約 20 % (m / m) のオレフィンを含む、請求項 1 に記載の炭化水素供給物。

【請求項 3】

前記供給物が、水素化されていない少なくとも一つの留分を含む合成炭化水素供給物である、請求項 1 または請求項 2 に記載の炭化水素供給物。

【請求項 4】

F T 反応の生成物である、請求項 1 に記載の炭化水素供給物。

【請求項 5】

少なくとも

- ・ F T 反応のプロセス生成物の非水素化留分；および
- ・ F T 反応のプロセス生成物の水素化転化された留分、

を組み合わせることにより調製される、請求項 3 または請求項 4 に記載の炭化水素供給物。

【請求項 6】

前記非水素化留分が、F T 反応生成物の凝縮物留分である、請求項 5 に記載の炭化水素供給物。

【請求項 7】

前記水素転化留分が、F T 反応生成物の水素化分解ワックス留分である、請求項 6 に記載の炭化水素供給物。

【請求項 8】

熱分解により低級オレフィンを製造するためのプロセスにおいて使用可能な、半合成供給原料の製造におけるブレンド成分としての、先行する特許請求項のいずれか 1 項に記載の炭化水素供給物の使用であって、前記ブレンド成分が、石油液体留分および天然ガス液体留分から選択される高度にパラフィン系の留分と共にブレンドされ、少なくとも 15 質量 % のオレフィン含量と 1 % (m / m) 未満の芳香族化合物とを有するようにブレンドされる、炭化水素供給物の使用。